

■鈴木藤三郎 製糖事業家。多数の特許取得して大企業化するも、政界に足を出し、サッカリン使用が問題化して破産。

すずきとうさぶろう

安政大地震・1855＝ 遠江国周智郡森町で、古着商太田文四郎の次男に生まれる。

安政の大獄・1859＝ 4歳：菓子商鈴木伊三郎の養嗣子となり、

桜田門外変・1860＝ 5歳：

禁門の変・・1864＝ 9歳：

明治維新・・1868＝13歳：

明治6年政変 1873＝18歳：

佐賀の乱・・1874＝19歳：_家督をつぎ藤三郎と改名。

三つの反乱・1876＝21歳：この頃から、_二宮尊徳の報徳主義に傾倒し、

明治14年政変1881＝26歳：

新体詩抄・・1882＝27歳：

岩倉具視没・1883＝28歳：_氷砂糖の試製に成功して、

秩父事件・・1884＝29歳：*製造を開始。

帝国憲法発布1889＝34歳：_東京府南葛飾郡砂村新田の新工場へ本拠を移し、鈴木製糖部を創立。砂糖精製技術の習得に努め、

帝国議会始・1890＝35歳：精製糖工場を増設し試製に着手、

足尾鉋毒始・1891＝36歳：

大本教・・・1892＝37歳：_精製糖の本格的操業に入る。

日清戦争始・1894＝39歳：

日清戦争終・1895＝40歳：*鈴木製糖部を母体に日本精製糖株式会社を設立、専任取締役兼技師長となる。

白馬会・・・1896＝41歳：欧米へ出張し、各国の精糖工場・製糖機械工場を視察するとともに、機械類の購入にあたり、

八幡製鉄始・1897＝42歳：ジャワ・香港の製糖工場も視察して帰国、
欧米で購入した機械を加えて工場は大幅に拡充、

Bushidou・・1899＝44歳：一挙に200万円に増資し、小冊子「日本糖業論」を刊行した。

ビノ国産化・1900＝45歳：_台湾製糖会社の設立準備に参画、社長に選任され、

田中正造直訴1901＝46歳：_台南県橋仔頭庄に粗糖工場が完成。砂糖消費税が実施されたのを契機に政界進出、

教科書疑獄・1902＝47歳：静岡県駿東郡富岡村(裾野市)に鈴木農場を開設。_日本精製糖の社長となる。

製塩・唇油藤造・製茶・水産物加工などに関連する諸機械・装置の発明とその事業化にも力を注ぐ。

日比谷公園・1903＝48歳：*総選挙に静岡県から出馬して当選、

日露戦争始・1904＝49歳：_再び当選。

日露戦争終・1905＝50歳：

満鉄発足・・1906＝51歳：大阪の日本精糖会社との合併問題で日本精製糖を退社した。

韓国反日暴動1907＝52歳：日本醤油を設立し、

アヲキ創刊・1908＝53歳：_この年まで衆議院議員をつとめたが、

伊藤博文暗殺1909＝54歳：*サッカリンの使用が問題化して破綻し、その整理のために全財産を提供せねばならなくなり、

明治天皇没・1912＝57歳：

大正政変・・1913＝58歳：胃癌で_没した。